

# 日本認知言語学会第19回全国大会プログラム【1日目】

9月8日(土)受付9時30分(場所:総合研究棟1階入り口)

		第1室	第2室	第3室
		総合研究棟24教室	総合研究棟23教室	総合研究棟22教室
ワークショップ	10:00	<テーマ> 多義動詞の分析—特徴の記述と分析方法の精緻化	<テーマ> 認知言語学がこれからの英語学習/教育を変えるか	<テーマ> 「ナル表現」とは何か—出来・存在・変化の観点から考える—
	12:20	○木下りか(武庫川女子大学)・李澤熊(名古屋大学)・有蘭智美(名古屋学院大学)・野田大志(愛知学院大学) 司会・ディスカッサント: 靱山洋介(南山大学)	○今井隆夫(愛知県立大学[非常勤])・中川右也(鈴鹿高等学校)・大西美穂(名古屋短期大学)・宮浦国江(北陸学院大学)	○守屋三千代(創価大学)・角道正佳(大阪大学名誉教授)・栗林裕(岡山大学大学院)・岡智之(東京学芸大学)・宮岸哲也(安田女子大学)

昼食休憩(12:20~13:20)

開会挨拶(13:20~13:30)会場:共通講義棟21教室

特別講演 13:30~15:30 会場:共通講義棟21教室	講師:Arie Verhagen(Leiden University) 司会:堀江薫(名古屋大学大学院) 演題:Iconicity in Intersubjectivity: Other minds in narrative language
-------------------------------------	---

		第1室	第2室	第3室	第4室	第5室
		総合研究棟24教室	総合研究棟23教室	総合研究棟22教室	総合研究棟31教室	総合研究棟32教室
司会		本多啓(神戸市外国語大学)	杉本巧(広島国際大学)	鍋島弘治朗(関西大学)	内田諭(九州大学)	村尾治彦(熊本県立大学)
第1発表	15:50	「形容詞語幹構文—グラウンディング要素としての形容詞語尾「イ」「ナ」「ダ」—」 平岩加寿子(大阪学院大学[院])	「日本語における直喩の写像方略の類型」 小松原哲太(立命館大学)・田丸歩実(京都大学[院])	「日本人大学生の英作文における比喩的表現と lexical phrases の使用」 川村拓也(静岡大学[院])	「フレーム意味論から見たoverの従事用法」 石垣恵一(九州大学[院])	「have it that 構文と非人称it 主語構文の連続性」 河野亘(京都大学)
	16:25					
第2発表	16:30	「中国語の形容詞が持つ「主観性」を考える—性質形容詞とその重ね型を中心に—」 王安(岡山大学)・上原聡(東北大学大学院)	「知性領域における視覚のメタファーの実現と制約」 三阪日向(関西学院大学[院])	「ジェスチャーとメタファーの接点—談話展開における変移に焦点を当てて」 片岡邦好(愛知大学)[招聘]	「The Semantics and Pragmatics of the English Parenthetical Expression <i>so to speak</i> 」 龐龍傑(名古屋大学)	「日英語の倒置構文についての認知言語学的研究」 藤田修二(大阪府立大学[院])
	17:05					
第3発表	17:10	「「青い目をしている」構文再考—「男好きのする顔をしたあの娘」はどこからやってくるのか?」 大神雄一郎(大阪大学大学院)	「日本手話における上下のメタファー」 高嶋由布子(日本学術振興会・東京学芸大学)[招聘]	「フロイト派精神分析における認知言語学的実践例」 松本由起子(北海道医療大学)	「Two Types of A-N Synaesthetic Modifications in English: Predication-based vs. Domain-based」 石田崇(筑波大学[院])	「橋渡しの構文のカテゴリー形成に関わる認知操作について—無生物主語構文の事例を中心に—」 對馬康博(藤女子大学)
	17:45					

懇親会(18:20~20:20) 会場:生協学食(南館)

※1日目・2日目ともに、総合研究棟21教室及び廊下のスタディスペースにて書籍展示を行います。

# 日本認知言語学会第19回全国大会プログラム【2日目】

9月9日(日) 受付9時10分(1日目に受付をされていない方のみ)

		第1室 総合研究棟24教室	第2室 総合研究棟23教室	第3室 総合研究棟22教室	第4室 総合研究棟31教室	第5室 総合研究棟32教室
<b>司会</b>		宇野良子(東京農工大学)	村越律子(東京ロシア語学院)	宇都宮裕章(静岡大学)	谷口一美(京都大学)	菅井三実(兵庫教育大学)
<b>第1発表</b>	9:30   10:05	「光のオノマトペ表現の意味拡張に関する認知意味論的分析」 三田寛真(東京大学[院])	「アルメニア語の不定形動詞による名詞修飾表現の成立に関わる語用論的要因—日本語との対照を通して—」 ○クロヤン・ルイザ(名古屋大学[院])・堀江薫(名古屋大学大学院)	「注意と視覚と二ノヲ交替」 今野弘章(奈良女子大学)	「対話から文法へ—overの習得を支える多層的な文脈—」 堀内ふみ野(大東文化大学)	「定型表現におけるグラウンドの現れ」 向井理恵(高岡法科大学)
	10:10   10:45	「日本語オノマトペの意味と動詞化の相関関係—非反復形をもとに—」 菅原崇(岐阜工業高等専門学校)	「ロシア語の具格標識の「多義性」の派生—Jakobson的記述」 中村渉(東北大学)	「魚網文」について 朱薇娜(名古屋大学)	「補助動詞「ていく」「てくる」の母語獲得—1男児の事例から—」 高梨美穂(多摩美術大学)	「照応的指示詞による非制限的修飾について—日中英の比較から—」 ○孟鷹(名古屋大学[院])・大島デイヴィッド 義和(名古屋大学大学院)

10分休憩

<b>司会</b>		徐珉廷(昭和女子大学)	大堀壽夫(慶應義塾大学)	鈴木智美(東京外国語大学)	今井忍(大阪大学)	酒井智宏(早稲田大学)
<b>第3発表</b>	10:55   11:30	「韓国語依存名詞「식(sik)」の類似引用的な機能—話者の否定的評価的態度の観点から—」 ○金炳爰(名古屋大学[院])・堀江薫(名古屋大学大学院)	「始動アスペクトの再定義と「Vかける」について」 染谷聡(東京福祉大学)	「疑いの疑問文「～だろうか」の意味の分析—「疑念」と「反語」の意味の連続性について—」 山田裕子(名古屋大学[院])	「動詞用法基盤モデルによる動詞「きく」の多義分析」 西本智子(兵庫教育大学[院])	「メンタル・スペース理論に基づく「～ために」と「～ように」の考察」 梶川克哉(名古屋SKY日本語学校)
	11:35   12:10	「発話におけるカテゴリーの中心例に関する一考察—カテゴリーの周辺例を明示する表現を通して—」 関ソラ(保育・介護・ビジネス名古屋専門学校[非常勤])	「抽象的移動を表す複合動詞について」 袁曉森(東北大学)	「証拠性「らしい」のミラティブへの拡張」 高島彬(金沢大学[院])	「流動物が容器の外に出る事象を表す動詞の意味拡張—「こぼれる」と「もれる」におけるフレームが果たす役割—」 小川朱美(名古屋大学[院])	「逆接を表す接続詞から談話標識へ—「だけど」と「けど」における機能拡張—」 胡蘇紅(名古屋大学[院])

昼食休憩(12:10~14:00 ポスターセッションを含む)

<b>ポスターセッション</b>	12:30   13:30 7件 同時進行	「スケール変換メタファーにおける文脈選択がもたらす効果について—科学ドキュメンタリー番組『人体』の分析から—」 大石亨(明星大学大学院)	「助詞トカの意味分析—カテゴリーの観点から—」 滝理江(名古屋大学[院])	「比喩指標とその類義語句を用いた直喩用例収集の試み」 ○加藤祥(国立国語研究所)・菊地礼(中央大学[院])・浅原正幸(国立国語研究所)	「概念メタファー「人間は植物」の日中対照研究」 銭秀双(成蹊大学[院])	「類義表現としての形容詞「高い」「深い」の意味分析—非空間的用法を中心に—」 栗木久美(名古屋大学[院])
	すべて 共通講義棟 11教室 オープン スペース にて	「場所格交替における全体的解釈の生成語彙論的分析—英語動詞sprayを事例に—」 曾根真基(東京外国語大学[院])	「日中対訳小説から見る受身の使用状況とその事態把握」 陳婧璇(神戸大学[院])			

**総会(14:00~14:20)会場:共通講義棟21教室**

<b>シンポジウム</b> 14:20   17:00 会場:共通講義棟21教室	テーマ:「多義をどう捉えるか—言語教育と理論の視点から—」 司会・講師 鷲見幸美(名古屋大学) 「日本語多義語の分析と日本語教育への応用」 講師 三宅登之(東京外国語大学) 「中国語多義語の分析と中国語教育への応用」 講師 宮畑一範(大阪府立大学)・辻本智子(大阪工業大学) 「英語多義語の分析と英語教育への応用」 総括 瀬戸賢一(佛敎大学) 「多義記述の問題点とその解法」
--	--

**閉会挨拶(17:00~17:05)会場:共通講義棟21教室**

※第19回全国大会は、静岡大学研究プロジェクト推進経費「学会等開催支援経費」の補助を得て運営されます。